

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------|----|----------------|
| ○事業所名 | こばんはうすさくら神戸舞子教室 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年 11月 1日 | | ～ 令和8年 11月 30日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 48 | (回答者数) 41 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 12月 1日 | | ～ 令和7年 12月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 11 | (回答者数) 11 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 1月 31日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|------------------------------------|
| 1 | 児童発達支援、放課後等デイサービス合同の関わりを持つことができる。 それによって、児発は自分より大きなお友達に慣れ親しみ、年上に対して敬う気持ちが育つ。 また放課後は自分より年下のお友達のお世話をすることで情操教育を育てる。 | 月一回の合同行事を積極的に取り入れる。 教室でも終日の日は合同で公園へ行く。 お弁当の後、児発の歯磨きのお手伝いを促す(子どもから自発的に声が上がる様になった) | 行事の内容や、合同遊びの内容を子どもから引き出すよう早めに提案する。 |
| 2 | 職員数が多く、個別の対応が必要なお子様にマンツーマンで寄り添う事ができる。 5領域に添ったレクリエーション。 | 子どもの能力に合わせた支援の取り組み。 初めてのレクリエーションや分かりにくい内容の場合、予定表に保護者様に分かりやすいよう取り組み方法の記載。 | 新しいレクリエーションを取り入れる。 |
| 3 | 保護者参観等、保護者が関われる機会を作っている。 | 新しい児童の保護者様には、3ヶ月以内に見学の声をかけお子様のご様子を見ていただき面談を行っている。 | 見学の機会を増やす。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--------------------------------------|--|
| 1 | 5領域に添ってバランスよく療育を行っているが、何かに特化した形での療育ではない。 | 保護者様の要望により5領域に沿って様々な療育をバランスよく行っている為。 | 更なるレクリエーションの内容向上のため、専門職の職員含め、全職員の研修等の強化。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |